# 2020年11月 **第36**号 R F M F

The Rutsuki Fujisaki Memorial Fund News

# るつ記記念基金だより

# パンデミック下のフィリピン教会と奨学生たち ---- シリマン大学・RFMF神学生の現地報告 ----



シリマン大学・神学部長 ジーネス H.フォーレア

フィリピンのネグロス島にあるシリマン 大学ではRFMFの6名の奨学生が神学部で 学んでいます。この地域には4月3日付け で新型コロナウイルス感染症の世界的大 流行(パンデミック)による都市封鎖(ロッ クダウン)が発出され、軍隊や警察を投 入して厳格な外出や移動の制限等が実施 されました。日立教会からの懸念の問い 合わせに応じて、6月の初旬、フォーレア 学部長から緊迫した現地の状況を伝える メッセージが届きました。(注1)

日本キリスト教団日立教会の皆さまへ

主イエスキリストの御名によってご挨拶申し上 げます。

私たちを襲うこのパンデミックの中、教会員の皆さまのご健勝をお祈りいたします。この病魔の中でも皆さまが神さまの御守りのもとにあり、神さまが日毎に直面する対応を支えて下さるようにお祈りしています。シリマン大学神学部は、皆さまと私共の学生たちと共に一つであり続けます。

RFMFの奨学生はみんな学業優秀です。しかしながら、彼らの家庭はもちろんですが、所属教会や教区もパンデミックの影響で経済的に窮しているために、悲しいことに彼らはみんな苦しい生活をしており大学へ戻る旅費にも事欠いています。また、大学ではクラスによってはオンライン授業を実施することになり、そのための装置類やインターネット利用の費用をどうするかという課

題もあります。

現在の奨学生については、3名がインターン教育中(最終学年)で地方の教会に派遣されており、他の3名はミドルクラス在学中です。彼らはCOVID-19のために変更になった新学期、2020年8月までに大学に戻ってくる予定です。

(次頁へ)

#### 【インターン教育中の3名】

ジャフェはボホールの小さな教会に派遣されており、そこは町からも教区事務所からも離れた場所にあります。教会員たちはパンデミックのために仕事がなく教会財政が大きく影響を受けています。そのためにジャフェが受け取っ



<u>ジャフェ</u>

# ご挨拶

#### 日本キリスト教団日立教会 牧師 島田 進、島田信子

2019年~2020年、中国・湖北省の武漢市で発生した新型コロナウイルスが世界中に感染し、人々の間に恐怖と不信、苦しみや孤立感が深まった一年でした。そうした非常事態の中、全国各地から100名を超える多くの皆さま方から100万円余の熱きお祈りと尊いご支援を賜わりました。心より感謝し、御礼を申し上げます。



さて、「るつ記記念基金」は、アジアの貧しい人々のために働きたいとの夢を抱き、フィリピン大学での学びを目前にした 1983 年4月2日、海で溺れた2名のフィリピン人女性を助けようと事故死された藤崎るつ記さんを悼み、彼女の夢を継承して、1983 年 11 月、日本キリスト教団日立教会に創設され 37 周年を迎えます。この間 137 名のフィリピン人青年たちの大学・専門学校の奨学金の支援ができました。教育 47 名、社会福祉・心理 15 名、看護 3 名、農業・理工 27 名、経済・商業・会計 19 名、神学 18 名、船舶・海洋・ホテル経営・その他 8 名の奨学生たちが皆、フィリピン国の諸地域で、社会の多分野でご活躍されていると伝え聞いており、ほんとうに嬉しく大きな喜びです。

彼らのお働きにいっそうの神様の恵みと祝福をお祈りしています。この37年の間に、日本もフィリピンも大きく変わりました。今後の支援のあり方や支援金の増額等、ふさわしい支援を模索しています。このたびもチャイルド・ファンド・ジャパンの武田勝彦事務局長と職員の皆さま、また日本聖書神学校・神保望校長、柳下明子教授、皆さま方の暖かな御教示・ご支援に感謝します。コロナウイルスの感染拡大は、私たちから愛の心を喪失させる厳しい現実を映し出します。「るつ記記念基金」奨学金と運動の輪が広がり、浸透することによって、フィリピンをはじめ、世界中にキリストの愛が満ち溢れ、平和が築かれていきますようにと、切に祈らされています。どうぞ、皆さま方のうえに、キリストの愛と平和が満ち溢れますように。

#### (前頁から)

ているわずかな給与も影響を受けており、いくつかの家庭礼拝を巡回する際に食料の支援を受けています。西ミンダナオにいるアルリやマスバテにいるガニバーが派遣されている教会や教区も困窮しており貧しく、携帯の電波が届かず連絡が取りずらい地域もあり十分な支援からは程遠い状況下にあります。

#### 【ミドルクラスに在学中の3名】

ョナは2児の母、西ミンダナオ島の出身。3月に大学がロックダウンした際に直ちに帰省したため提出論文の一つを完成できませんでした。RFMFの奨学生の中でも彼女が一番経済的な支援を必要としています。彼女は完成した



<u>ヨナ</u>

論文を提出したかったのですが当該地域からはインターネット接続ができないため提出できませんでした。学部では提出され次第単位を与えることにしています。

へセドはドゥマゲッティ市がロックダウン直後に州境を閉鎖したため、帰省できませんでした。そのため、約3か月間、取り残された5名の学生の一人としてキャンパス内に残留しており、神学部の教職員の何人かに支援してもらっています。家族は防疫のために就労できないでいるためへセドへの支援が困難な状況です。

ジョエウィンは西ビサヤスの非常に困窮している教会と家族の出身です。彼もまた携帯がつながらない場所にいるためほとんど連絡がつきません。辛うじて彼が教区事務所に行った時にだけ連絡できる状況です。

再度、皆さまの学生へのご支援とお心遣いに感謝いたします。我々のパートナーの皆さまと共に、このパンデミックの恐怖を乗り越えることができると信じています。

お祈りしています。

2020年6月5日

(訳:金丸公春)

# **夢に向かって!** - ミンダナオ島からの報告-アイリッシュ(経営管理学専攻)

新型コロナウイルスの感染が世界で拡大する中、10 月1日現在のフィリピンの感染者は311,694人、死者は5,504人に拡大していると発表されました。(注2)

基金の奨学生16名は、それぞれの地域の状況は異なりますが、都市封鎖や大学の授業中止などの影響を受け生活は困窮化し、学業は遅延するなどの影響を受けています。RFMFでは通常の奨学金のほかに特別に緊急支援金を提供し情報機器や通信環境の整備、日常生活などを支援してきました。以下のメッセージは、チャイルド・ファンド・ジャパンのご尽力を得て整備されたパソコンと通信環境整備に対する感謝を込めて送られてきたアイリッシュからの現地報告です。

(注2):世界の感染者は3,400万人、死者は101万人、 日本は感染者は83,884人、死者は1,575人。

#### るつ記記念基金の皆さまへ

COVID-19が起こってからは、最近では人々の日常生活が急速に変化しました。学校や大学が閉鎖され、それにより学生たちの教育も影響を受けています。そして、ショッピングモールや娯楽施設も閉鎖されたため、人々の外出先も限られています。更には、店舗やデパートの閉鎖により経済にも影響しています。

ロックダウンの間、私たちの家族は兄の給料以外には十分な収入が得られませんでした。旅行の制限により、父は運転と旅客輸送ができず収入を失いました。そのため、とりわけ全ロックダウン中の政府の援助には非常に感謝し、私たちの日毎の糧を維持する大きな助けになりました。

私は夏期授業に参加し、そこではほとんどがオンラインで行われました。私は携帯電話だけしか持っておらず、保存容量が不十分だったため、授業に必要な色々なアプリをインストールできない事態に遭遇しました。インターネット接続もまた大きな問題でした。貧弱なインターネット接続なので、私たちの授業は時々途切れてしまいます。この新しい日常、生活様式(オンライン授業)は教師と学生の両方にとっての挑戦であると言えます。

にもかかわらず、私は、厳しかったですが、この変化に対応することができたことを私の家族、 先生方、友達、学友の皆さんに感謝しています。





ミンダナオの美しい海!

しかし、このような困難によっても神様に対する信仰が決して揺らぐことがないばかりか、私も家族も私たちが直面した環境に適応し受け入れることができています。私たちは、前向きに毎日の必要な収入を得る道を探し続けました。私たちはルンピア(春巻き)を作ってご近所に販売しました。収入はわずかですが、この危機の真っ只中で私たちが生き延びるために大きな助けでした。

この様に、経済的な危機においても、特にこのような食べ物にもこと欠く恐れの時であっても、神様は私たちに必要なものを与え続けてくださいました。

私の学習を助けてくださった方々には本当に感謝しています。ラップトップパソコンを提供してくださったことは、オンライン授業において非常に助けとなりました。

私の夢を実現すべく私が勉学を継続できる機会をくださったこと、この新たな日常を受け入れられるように私を励ましてくださったことに感謝申し上げます。本当にありがとうございます。皆様のご親切に神様の祝福がありますように。

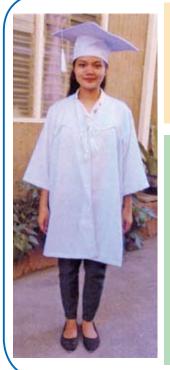
2020年9月 アイリッシュ

(訳:金丸公春)



# 奨学生からのメッセージ





## アイリス 2016年度奨学生(情報技術専攻)

今年(2020年)の卒業にあたり感謝のお手紙をいただきました。 心を込めたメッセージに感激します。卒業おめでとう!これからのご 活躍をお祈りしています!

#### 支援者の皆さま

こんにちは。わたくしは皆さまの奨学生のひとりであったことに感謝 を申し上げたいと思います。それは、るつ記記念基金の奨学生になるこ とができたのが、わたしにとって大きな支えだったからです。

現在も大学院生として、るつ記記念基金の皆さまへの感謝の気持ちを もちつづけています。皆さまからいただいたすべてのご支援に感謝いた します。これまで学業に一心に打ち込んできたことを無駄にしないよう にと思っています。又、子供たちの良き隣人となり彼らのためにも働き たいとも思っています。

重ねて皆さまのこれまでのご支援に心から感謝をいたします。神様の 祝福が皆さまと共にありますように。

## ダイアナ 2018年度奨学生(医療工学専攻)

日立教会女性グループ(麦の会)からお贈りしたバースデイカード への感謝のお手紙です。



#### 親愛なるるつ記記念基金の皆さまへ

皆さま、こんにちは。

今日は本当に特別な日です。今日は皆さまとご一緒に夢をかなえるた めに生きるチャンスを与えられた日なのです。皆さまがわたしの誕生の 日を覚えていてくださることをうれしく思います。皆さまはカードとお 祝いの言葉を通してわたしの誕生日をお祝いしてくださいました。あり がとうございます。皆さまがわたしの人生に与えてくださったもの、特 に教育に感謝いたします。皆さまのサポートはわたしにとって大きな助 けになりました。そして、この助けが決して無駄にならないことをお約 束いたします。わたしは学業で良い成績を収めて、わたしの夢を追い続 けます。実際、今年はそのような思いで学期中にすべての科目を合格し ましたので、素晴らしい年でもありました。・・・





ジェイヴィ

(イラストは奨学生からの2019年のクリスマスカード)



# **奨学生の現状**(心こめて皆さんを応援します)

今年は2名が卒業し旅立ちました。又、支 援を継続する奨学生は以下の16名で290万 円(内緊急支援は130万円)を贈呈しました。 どうぞ、フィリピン各地で学び成長する彼 ら、彼女たちのためにお祈りください。なお、 1984年以来累計で137名を支援し奨学金を 2874万円贈呈してきました。

採用年度

名前(専攻)









ジャフェ (神学)

ジェラ(中等教育学)





アルリ(神学)

ガニバー (神学)

2018年度





ジェイヴィ(医療工学)



アイリッシュ (経営管理学)



リチェル(教育学)

ジョエウィン(神学)

#### 2019年度









ダイアナ(医療工学)

ジュニロン(電気工学)



カイル(農学)





レズ(犯罪学)









アイバン(土木工学)

ミカ(経営管理学)

ヘセド(神学)

ヨナ(神学)

◎お陰様で卒業いたしました。

⇒ ジェルリン(2015年、中等教育学)、アイリス(2016年、情報技術) (教育学専攻のジェルリンは今後国家試験に挑戦し教師を目指します。)

# インフォメーション

#### 茨城キリスト教学園中学校文化祭に出展 - 2019年11月2日(土) -

2002年から出展を続け昨年は18年目になりました。展示室では中学生やご家族など約200名の皆さまが、熱心に見学して下さいました。



今年度は COVID - 19 のため学園祭が中止となりましたが、10 月の中学生と高校生礼拝の中で基金活動の紹介をさせていただきました

### スマホでアクセス!

スマホで下のような QR コードを読んでいただくと日立教会の最新の WEB 情報にアクセスできます。

**ホームページ**では教会全体の情報をご覧いただけます。

YouTube による礼拝ライブでは日立教会で毎週行われている日曜日の礼拝(10時15分から)にライブでも録画視聴でもご参加できますし、るつ記記念基金には基金の歴史や奨学生の現状が掲載され随時更新されています。

又、パソコンの検索エンジン (Bing や Google など) で「日立教会」を入力し検索していただくと同上の処理ができます。







<u>礼拝ライブ</u> (YouTube)



<u>るつ記記念基金</u> (RFMF)

# 新型コロナウイルス感染症対策緊急支援(130万円)報告

フィリピンではパンデミック以前から貧しい生活や公衆衛生環境、脆弱な医療体制の改善が必要とされていました。さらに、台風や水害などの自然災害への備えも充分ではなくミンダナオ島ではイスラム武装勢力との内戦による避難民が10万人以上いるなど、差し迫った感染症対策を円滑に進めるための社会環境も整ってはいませんでした。そんな中、感染症自体の対策遅れのほかに奨学生たちの就学を支える家族や教会などの経済的(金銭的)基盤が、ロックダウンに起因する休業等により弱体化していることが、特に地方の貧し

い地域で顕在化します。

今年6月、RFMFでは現地からの報告をもとに、オンライン授業環境整備や生活支援を中心に緊急の困窮対策が必要と判断し、シリマン大学の神学生たちにはすでに決定していた6名分の奨学金に加えて60万円、チャイルド・ファンド・ジャンの10名の奨学生については70万円を緊急支援として追加し、今年度の奨学金とあわせて合計290万円を贈呈いたしました。皆さまの永年のご支援があってこそこのような支援が実施できました。感謝いたします。

(ICT担当:金丸公春)
☆今年度は、コロナ禍の中で勉学に励んでいらっしゃる奨学生の方々に、緊急支援金をプラスして奨学金をお送りすることができました。奨学生を応援してくださっている皆様のお気持ちを少しでも汲み取る事ができたかなと思っています。今後も暖かいご支援を宜しくお願いいたします。

(会計: 菅原卓子)
☆COVID-19のため日立教会は行事ができず、会員同士の
交わりや食事も十分にできないでおります。しかし礼拝は
牧師先生ご夫妻のご尽力により礼拝堂の換気、アルコール

消毒、検温、social distancing、マスク着用のもとでしっかり守られております。感謝です。礼拝前にシリマン大学の先生が作られた歌が流れますが、これは苦境に立ち向かうようにと元気を与えてくれます。 (百瀬義広)☆「コロナで世界の4億人分の仕事が消えた!」「途上国には手洗い用の水さえ無い!」…パンデミック下でも強いもの勝ちの法則が容赦なく貫徹されますね!日本もご承知の通り…。大惨事を解決しようともしない強欲な世界のリーダーたちを見下ろしながら、今、できることを、今、やっていきましょうよね。 (委員長:和田 直)

#### るつ記記念基金だより 第36号

2020年11月3日発行

編 集:るつ記記念基金委員会 発 行:日本キリスト教団日立教会

〒317-0064 茨城県日立市神峰町4-14-7 TEL 0294-21-4565 FAX 0294-23-3367 URL http://hitachi-church.justhpbs.jp 郵 便 振 替 ロ 座 番 号/00300-9-15365 日本キリスト教団日立教会るつ記記念基金